





# 奨学生家庭の悩み浮き彫り

## 16年度相談会、平均参加率38%



4年目を迎えた16年度の「高校奨学生と保護者の相談会」は、4県と1地区で計画どおり実施され、昨年12月の沖縄県を最後にすべて終わった。相談内容は、学費の問題や奨学金の貸与・返還、進路、学生寮、心酔など多岐にわたっており、奨学生家庭が抱える悩みの多さを浮き彫りにしている。

16年度相談会参加状況

	実施月	対象家庭	来場相談	電話相談	参加率
宮城	7月	20	6	2	40.0%
四国	9月	26	9	1	38.5%
神奈川	10月	22	4	2	27.3%
岡山	11月	19	6	1	36.8%
沖縄	12月	21	9	1	47.6%

相談は、学費に関しては「進学希望だが、学費が心配」「本人は専門学校を望んでいるが、母は経済的理由から就職を勧めている」といった内容。こうした相談には、大抵一時金があること、東京、関西なら学生寮を利用すれば負担は少ないこと、返還

の苦労は伴うが他の奨学金も併用すれば送付なしでも進学が可能なことを説明し、本人の希望に沿ってはと勧めた。入学一時金の増額、貸与もあつたので必ず手続きを、奨学金の貸与では「海外留学に適用されるのか」「いつまで借りた社会人になったあとに返済するのかわからない」という相談もあつた。奨学金の返済は、原則として返済することをお勧めした。奨学金の返済は、原則として返済することをお勧めした。

40で割った額と説明し、無理のない額でまずスタートを切ってほしいとお勧めした。「浪人した場合は就職できなくてバイト中は」という相談には、猶予制度もあるのではとアドバイスした。

進路については、1、2年生には未決定者やそのつど希望職種が変わるという訴えが保護者からあつた。本人と保護者の意見の相違、目指したい学部が県内にはなく悩んでいるケースもあり、東京、関西に出てくるなら学生寮を利用するよう勧めた。

「父が事業に失敗、孫の美容専門学校への進学が絶たれた」という祖父からは、何かいい方法はないかと深刻な相談。奨学金とバイトで頑張るか、修業しながら資格をとるのも一つの方法とアドバイスした。

東京の学生寮心酔は、存在は知られていても詳細は

「拾った他校生の生徒手帳を焼いてしまい、自主退学を迫られている」「ゲームセンターで遊ぶことを覚え、学校を辞めるといつて困っている」「精神的ストレスから、目が悪くなっている」という相談があつたが、いずれも専門家に相談することを勧めた。

### 心塾生が新聞「心意記」発刊



心塾塾生の、塾生による、塾生のための新聞「心意記」第1号が、昨年12月20日に発刊された。A4判4ページ。スタッフは10人。編集長の西村秀幸君は、発刊のあいさつで「心意記」の発刊を機に、生活状況報告書や作文は、奨学金貸与と併せて提出が義務づけられている大切な文書です。育英会と奨学生の皆さんが手を携えてさらに前進できるように、ご協力ください。

「拾った他校生の生徒手帳を焼いてしまい、自主退学を迫られている」「ゲームセンターで遊ぶことを覚え、学校を辞めるといつて困っている」「精神的ストレスから、目が悪くなっている」という相談があつたが、いずれも専門家に相談することを勧めた。

### 大リーグ木田投手 心酔で講演

米大リーグで活躍する木田投手(36)が昨年12月14日、心酔の文章講座に講師として「登板」。塾生、育英会職員を前に「僕の野球人生」を語った。その講演内容を紙上再録する。

僕は、高校を卒業して、リカの教育リーグに派遣していった。その帰路、ロスのホテルで同じ部屋になったのが、木田投手。「いつか大リーグに行きたい」と話し合った。カージナルスの二ホームに着いた。木田投手は「それは、アメリカの生活は、日本とは全然違う。早く帰りたい」と話した。木田投手は「それは、アメリカの生活は、日本とは全然違う。早く帰りたい」と話した。



木田投手は「それは、アメリカの生活は、日本とは全然違う。早く帰りたい」と話した。木田投手は「それは、アメリカの生活は、日本とは全然違う。早く帰りたい」と話した。

木田投手は「それは、アメリカの生活は、日本とは全然違う。早く帰りたい」と話した。木田投手は「それは、アメリカの生活は、日本とは全然違う。早く帰りたい」と話した。

木田投手は「それは、アメリカの生活は、日本とは全然違う。早く帰りたい」と話した。木田投手は「それは、アメリカの生活は、日本とは全然違う。早く帰りたい」と話した。

木田投手は「それは、アメリカの生活は、日本とは全然違う。早く帰りたい」と話した。木田投手は「それは、アメリカの生活は、日本とは全然違う。早く帰りたい」と話した。

木田投手は「それは、アメリカの生活は、日本とは全然違う。早く帰りたい」と話した。木田投手は「それは、アメリカの生活は、日本とは全然違う。早く帰りたい」と話した。

### 人生に必要な三つの力

#### できることを精いっぱい

僕が野球人生で自慢できるのは、19年目を迎えたこと。来年(05年)高卒で入ってくる選手に「お前が生まれたとき、おれはもうプロ野球選手だった」と自慢できるから。だが今度、阪神に15歳の選手が入ったから、それはもう自慢にはならなくなった。

僕が野球人生で自慢できるのは、19年目を迎えたこと。来年(05年)高卒で入ってくる選手に「お前が生まれたとき、おれはもうプロ野球選手だった」と自慢できるから。だが今度、阪神に15歳の選手が入ったから、それはもう自慢にはならなくなった。

僕が野球人生で自慢できるのは、19年目を迎えたこと。来年(05年)高卒で入ってくる選手に「お前が生まれたとき、おれはもうプロ野球選手だった」と自慢できるから。だが今度、阪神に15歳の選手が入ったから、それはもう自慢にはならなくなった。

僕が野球人生で自慢できるのは、19年目を迎えたこと。来年(05年)高卒で入ってくる選手に「お前が生まれたとき、おれはもうプロ野球選手だった」と自慢できるから。だが今度、阪神に15歳の選手が入ったから、それはもう自慢にはならなくなった。

僕が野球人生で自慢できるのは、19年目を迎えたこと。来年(05年)高卒で入ってくる選手に「お前が生まれたとき、おれはもうプロ野球選手だった」と自慢できるから。だが今度、阪神に15歳の選手が入ったから、それはもう自慢にはならなくなった。

僕が野球人生で自慢できるのは、19年目を迎えたこと。来年(05年)高卒で入ってくる選手に「お前が生まれたとき、おれはもうプロ野球選手だった」と自慢できるから。だが今度、阪神に15歳の選手が入ったから、それはもう自慢にはならなくなった。

僕が野球人生で自慢できるのは、19年目を迎えたこと。来年(05年)高卒で入ってくる選手に「お前が生まれたとき、おれはもうプロ野球選手だった」と自慢できるから。だが今度、阪神に15歳の選手が入ったから、それはもう自慢にはならなくなった。

僕が野球人生で自慢できるのは、19年目を迎えたこと。来年(05年)高卒で入ってくる選手に「お前が生まれたとき、おれはもうプロ野球選手だった」と自慢できるから。だが今度、阪神に15歳の選手が入ったから、それはもう自慢にはならなくなった。

# 先輩

## お元気ですか

### 保育士 市坪 美保さん

〔略歴〕  
 旧姓・沖田。島根県浜田市生まれ。88年奈良文化女子短大卒。保育士として奈良県の保育園に3年勤めた後、退職して結婚。広島から八雲村立八雲保育園へ。98年松江市に転居。現在に至る。



## 立ち上がった、初めて歩いた 成長の瞬間に立ち会える喜び

小さいときから、なりたい職業はいつも「保育士」だった。その夢を実現させ、気の抜けない毎日を過ごしながらも、やりがいを感じているのが市坪さんである。父光生さんが交通事故で亡くなったのと、ピアノを習い始めたのが、ほぼ機を同じくする。4歳だった。ピアノの師は、幼稚園の先生。その印象がよかった。「先生にあこがれ、保育士になりたい職業」になった。書いた計算したりという事務的なことが苦手、どちらかといえば体を動かす方を好んだ。小さい子の面倒をみるのが好きで、親戚の子のおむつ替えもよくしていたという。保育士に向かっていたら、歩んできた様子がかかえる。

島根県浜田市内の高校から奈良文化女子短大を出て、待望の保育士の道を踏み出したのは88年、奈良の保育園だった。「ついに」

結婚、広島へ。出産、育児と主婦業の日々。土地柄が合わなかったこともあった。松江市の隣、八雲村立八雲保育園。職員は看護師、給食関係者も含め23人、園児は0歳から就学前の6歳まで96人。ここで0歳と1歳児13人を、4人で受け持

た。「手のかかった子、慕っていた子……もう成人しているはずだが、どうしているかなあ」。ふと思いつくことがある。いまでも当時の子どものことは覚えていて、その長さは続かなかつた。3年後、高校時代の同級生と

結核、広島へ。出産、育児と主婦業の日々。土地柄が合わなかったこともあった。松江市の隣、八雲村立八雲保育園。職員は看護師、給食関係者も含め23人、園児は0歳から就学前の6歳まで96人。ここで0歳と1歳児13人を、4人で受け持

た。「手のかかった子、慕っていた子……もう成人しているはずだが、どうしているかなあ」。ふと思いつくことがある。いまでも当時の子どものことは覚えていて、その長さは続かなかつた。3年後、高校時代の同級生と

結核、広島へ。出産、育児と主婦業の日々。土地柄が合わなかったこともあった。松江市の隣、八雲村立八雲保育園。職員は看護師、給食関係者も含め23人、園児は0歳から就学前の6歳まで96人。ここで0歳と1歳児13人を、4人で受け持

た。「手のかかった子、慕っていた子……もう成人しているはずだが、どうしているかなあ」。ふと思いつくことがある。いまでも当時の子どものことは覚えていて、その長さは続かなかつた。3年後、高校時代の同級生と

結核、広島へ。出産、育児と主婦業の日々。土地柄が合わなかったこともあった。松江市の隣、八雲村立八雲保育園。職員は看護師、給食関係者も含め23人、園児は0歳から就学前の6歳まで96人。ここで0歳と1歳児13人を、4人で受け持

た。「手のかかった子、慕っていた子……もう成人しているはずだが、どうしているかなあ」。ふと思いつくことがある。いまでも当時の子どものことは覚えていて、その長さは続かなかつた。3年後、高校時代の同級生と

結核、広島へ。出産、育児と主婦業の日々。土地柄が合わなかったこともあった。松江市の隣、八雲村立八雲保育園。職員は看護師、給食関係者も含め23人、園児は0歳から就学前の6歳まで96人。ここで0歳と1歳児13人を、4人で受け持

いものも悪いことも自然に覚える。たとえば「いただきます」という生活習慣など、すぐ身に付く。0歳、1歳でこんなことができる。と驚くことは、しょっちゅうある。ただ母親代わりの仕事をするわけだから、接し方、かわり方には十分な配慮が求められる。保育士にとって一番大事なこと。「一にも二にも、子どもが好きであること。あこがれだけではダメ。子どもを見てあげたいという職業ではない。その子の資質を踏まえて接していかねばならない」。

抵抗や悩みもある。特に自身ときはギャップがある。母親から「子どもを産んでいないのに、何がわかるの」といわれるときがある。確かに子どもを産んで初めてわかることもある。経験を積み重ねていくことも解決策の一つのようだ。ところが、わが子にはうまくいかないという。自分の子にはどうしても欲が出る。それが甘やかしになる。0歳1歳のとき、こうしておけばよかったと思うことはあるし、仕事でかわってやれなかったことも多い。寂しい思いをさせたのではないかと。自分の子は難しく考えすぎるとか。

八雲村のよきは、地域交流が盛んなこと。保育園だと、老人会や幼稚園との定期的な交流がある。4月に松江市と合併することで、そのよさがなくなることはない。かといって心配する人が多い。生まれたばかりの子を保育園に預けるのはかわいそう、という見方もある。だが、子どもにとっても団体の生活は大切なものだ。家庭では、見て育つものがない。保育園だと、い

少子高齢化社会で、心優しい福祉のプロが求められています。奨学生から本会に寄せられた「就きたい職業」でも、福祉関係がトップクラスです。夢をかなえようとして、福祉の専門学校で専門知識と確かな技術を学んでいる人も数多くいます。今回のインタビューは、児童養護施設で、親の愛に恵まれない子どもたちの力になろうと志している奨学生・根津心平君です。

「福祉の学校に進もうと決断した理由は、\*高2のころ進学で迷っていたら、母が「お前には福祉が向いているのではなにか。福祉へ進むことも考えて」と言ってくれました。母がデイサービスを受けたいから、福祉が大事」と感じていた。この道を選びました。その母は入学前に亡くなりました。父も交通事故で、命とか福祉の大切さは身に染みしています。

「社会福祉士」の国家試験を受ける資格が得られます。これに挑戦します。これとは別に、大学の心理学科が社会学科で勉強して、児童指導員になりたいです。働きたい最終目標はどこですか。\*それは児童養護施設です。親がいない子や、いろいろな事情で親と一緒にいるられない子が入っている施設ですが、この子らの力になって励ましてあげたい。趣味を聞かせて。\*ロック系の音楽が好きです。ロックの「バックホーン」や、パンクロックの「マストラオコミッション」のライブを渋谷へ聞きに行きます。

## インタビュー

### わが道



## 東京国際福祉専門学校 1年 根津 心平君 (聞き手・本紙編集長)

「入学前に想像したことと、入学後では何か違っていましたか？」

「簡単に思っていたけど思ったより奥が深かった。援助技術のベッドメイキングで、シーツひとつ敷くのに、シーツの裏面に着き、またシーツの表面に着き、その間がほかにうつつからダメなんです。」

「今の学校に入ってから決断した理由は、\*高2のころ進学で迷っていたら、母が「お前には福祉が向いているのではなにか。福祉へ進むことも考えて」と言ってくれました。母がデイサービスを受けたいから、福祉が大事」と感じていた。この道を選びました。その母は入学前に亡くなりました。父も交通事故で、命とか福祉の大切さは身に染みしています。」

「社会福祉士」の国家試験を受ける資格が得られます。これに挑戦します。これとは別に、大学の心理学科が社会学科で勉強して、児童指導員になりたいです。働きたい最終目標はどこですか。\*それは児童養護施設です。親がいない子や、いろいろな事情で親と一緒にいるられない子が入っている施設ですが、この子らの力になって励ましてあげたい。趣味を聞かせて。\*ロック系の音楽が好きです。ロックの「バックホーン」や、パンクロックの「マストラオコミッション」のライブを渋谷へ聞きに行きます。」

「入学前に想像したことと、入学後では何か違っていましたか？」

「簡単に思っていたけど思ったより奥が深かった。援助技術のベッドメイキングで、シーツひとつ敷くのに、シーツの裏面に着き、またシーツの表面に着き、その間がほかにうつつからダメなんです。」

「今の学校に入ってから決断した理由は、\*高2のころ進学で迷っていたら、母が「お前には福祉が向いているのではなにか。福祉へ進むことも考えて」と言ってくれました。母がデイサービスを受けたいから、福祉が大事」と感じていた。この道を選びました。その母は入学前に亡くなりました。父も交通事故で、命とか福祉の大切さは身に染みしています。」



「入学前に想像したことと、入学後では何か違っていましたか？」

「簡単に思っていたけど思ったより奥が深かった。援助技術のベッドメイキングで、シーツひとつ敷くのに、シーツの裏面に着き、またシーツの表面に着き、その間がほかにうつつからダメなんです。」

「今の学校に入ってから決断した理由は、\*高2のころ進学で迷っていたら、母が「お前には福祉が向いているのではなにか。福祉へ進むことも考えて」と言ってくれました。母がデイサービスを受けたいから、福祉が大事」と感じていた。この道を選びました。その母は入学前に亡くなりました。父も交通事故で、命とか福祉の大切さは身に染みしています。」



寒風がホームを渡り観光客もまばらな京都駅で、新幹線から琵琶湖線に乗り継ぎ、座席で一つ伸びをする。トンネルを抜けて山科に。山に囲まれた景色を見るまもなく二つ目のトンネル、逢坂山に差し掛かった。

# お母さんただいま奮闘中

## 大津市 高嶋 美幸子さん

視界が開けると、そこは大津駅。京都から10分たらずで、琵琶湖の西南岸大津市の玄関口に立った。  
奨学生のお母さん・高嶋美幸子(みさこ)さんは、ここ、滋賀と京都を舞台に、生涯学習の指導者として活躍していた。



「子育てセミナー」風景



保育のプロと一緒に子守りのお母さん

### 生涯学習に情熱燃やし 学びで明け暮れる生活

お母さんが所属している団体は、社団法人スコレ。家庭教育振興協会(永池榮吉会長。「スコレ」とは、「スクール」の語源となったギリシャ語で、学び遊びの暇を意味する。会員は、早朝研修や子育てセミナーなどの生涯学習を通して、一人ひとりが自分を育て、心豊かな生き方を熟成させている。

### 早朝研修でスタート 学習は、いきいき人生

スコレは、毎朝5時から全国五十数カ所の会場で早朝研修をしている。1日のスタートで、人としてのマナーを学び優れた生活習慣を身に付け、いきいきとした人格へと変身する。お母さんの1日も、早朝研修から始まる。朝4時ごろ家を出て、遠方の会員2〜3人を車で迎えに行き、5時前に琵琶湖・大津港近くの会場に到着する。1月15日の早朝「島の関自治会館」で開いた研修に参加させてもらった。この

生活における心構えや身の処し方について説いた。次いで5人の会員が約3分ずつ意見発表した。最初は主幹の伊藤さんが、わが子の受験の出来事で、揺れ動いた心と、その対応を率直に話した。2番目は、娘を出産して10日ほどご主人が中国へ赴任した方。きのう(14日)のスコレ「子育てセミナー」の開催される。ほかに各種会合や全国指導者会議などがあり、年間行事では「母親講座(年



早朝研修、演壇に立つお母さん



笑顔いっぱいスコレの仲間と

お母さんは大津高校時代吹奏楽部でパーカッションを演奏していた。同じ部にトロンボーンを吹いていた1年先輩の塚本公哉(きみや)君がいた。部活動は、夏休みも返上して練習するほど熱心で、大勢の友達がいっぱい。いつしか二人の気持ちが通い合い、将来の結婚を予感した。青春の月日は慌ただしく流れ、公哉さんは龍谷大学を出て西武百貨店に勤めた。自分も京都女子大学短期大学部を卒業して三洋電機に就職した。この間、二人はしばらく大津吹奏楽団で活動した。昭和60年3月、高校時代

から7年の交際が実を結び、結婚式を挙げた。友達が企画した披露パーティーには約100人の友人が集まり、二人のために作った曲を演奏して祝福してくれた。幸福の絶頂だった。彼は友達が多くて、いつも人の輪の中にいた。そういう彼と一緒にいるのが幸せだった。夫の勤務地・東京へ行くため、仕事をやめて大津を去ったがその後、夫の転勤で一緒に関西(尼崎)に戻ってきた。結婚から2年後には長女、亜沙子ちゃん(あさこ)が生まれ、幸せな日々を送っていた。ところが、半年後に夫が出張先から帰る途中、思い

### 部活で芽生えた愛 わが子に書いた手紙

お母さんは最近ちょっと時間にゆとりができたので、また音楽を始めたいと思っている。昔の仲間が大津吹奏楽団のOB会をつくって、やろうじゃないか」と言い出したので、かかわりたい。生活の中心は、スコレの学びだけど、余暇を少し楽しみたい。

### 子育てセミナー、ボイス トレーナーで活躍

子育てセミナーが開かれて3歳までの5人。床にシートを二重に敷いて、積木や絵本で機嫌よく遊ばせた。午前11時半、セミナーが終わり、会場の係としてお母さんが保育に回った。飛び上がった喜んだ。親の背中を見て、みんなの子が育っていると感心した。スコレには、正式なキッズルーム研究会がある。

縁あってスコレで学ぶようになったお母さんは、亜沙子さんが中2のときピッチを聞いた。口を聞いてくれなくなったのだ。悩んだが、考えてみると祖父母と母親が娘だけを見ていた生活だった。自分の言いたいことがあって、プラス思考の子だけだと、気持ちが重かったのだらう。



亜沙子さんが焼いたケーキで朝のお茶

も寄らぬ交通事故に遭い、27歳の短い生涯を終えた。生まれて6カ月の乳飲み子を抱えた若いお母さんは、ぼうぜんとした。しばらく夫の実家で過ごし、やがて自分の両親のもとに戻った。縁あってスコレで学ぶようになったお母さんは、亜沙子さんが中2のときピッチを聞いた。口を聞いてくれなくなったのだ。悩んだが、考えてみると祖父母と母親が娘だけを見ていた生活だった。自分の言いたいことがあって、プラス思考の子だけだと、気持ちが重かったのだらう。

# 奨学生のコーナー

岡山県立高松農業高校2年 万代 聖利奈



イラスト 創形美術学校3年 三橋綾子さんの作品

私は犬が好きで、今なりたいと思っている将来の夢は、ドッグトレーナーです。犬に囲まれた生活がしてみたいから、大変だと思うけど今はこれになりたいなあーと思っています。

## 夢はドッグトレーナー

人生はまだまだ長く、将来の夢も変わっていくかもしれないけど、後悔のないように頑張りたいです。今は進学はまだ早いけど、卒業に向けて頑張ろうと思います。卒業していく3年生を見習って！

## 燃える青春



大分駅前大通りを、海を渡る証があった。向かってまっすぐ15分ほど歩き、左に曲がると大分東明高校があった。「コンピユーター部」訪問を告げる。コンピユーター部は、この応接室の隣のコンピユーター部が設置されている3階に通された。室内にはいろいろな部活動で獲得した優勝トロフィーや表彰状が所狭しと並び、大分県の教育界に輝かしい歴史を刻んでいる。



手を休めて問題点を話し合う二人の部長



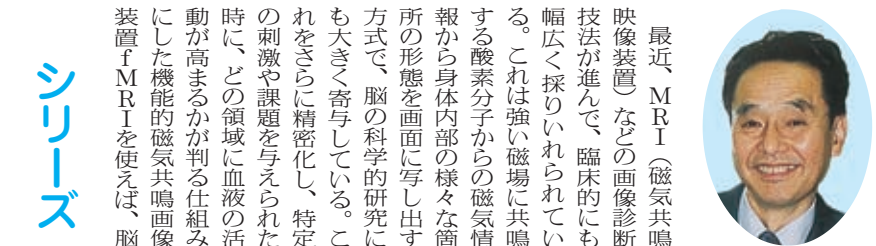
薬師寺(左)藤原(右)両先生に励まされる藤井君

平日は水、木曜日のどちらかを、土曜日はまる一日部活にあてていた。1月26日(水)部活の教室を訪ねると、室内には東芝のパソコン、ダイナトックのプリンター4台がテーブルの上に整然と並んでいた。驚いたのは、ほぼ満席状態だったこと。部員は7人のはずなのになぜかその日は大勢集った。4日後の日曜日に情報処理の検定試験があり、商業科などの人たちが大挙押し寄せて特別にしていたのだ。

## 部活動拝見 コンピユーター部長

### 大分東明高校(大分県)2年 藤井 賢吉君 (16)

余裕のある手さばきは、実なるときは、すーっと教えの裏打ちがあるからだろう。二人は、勉強の合間を縫って自分がつくりだせる。達は一瞥置いている。薬師寺正典先生は、藤井君



## 中根 晃(元実践女子大学教授)

最近、MRI(磁気共鳴映像装置)などの画像診断技法が進んで、臨牀的にもまたたばかりの新生児では10パーセントである。脳の重さは生後6カ月で大人の半分、2歳では4分の3と

## 誕生前の心の健康

どの部位がどのような機能を担っているかが判り、最大となり、過剰に形成されたシナプスは使わなければ脱落し、生後11カ月で最大の60パーセントまでに減少し、大人のレベルになる。母胎内の脳の形成の様子

が見える大きさと、動きを目で追ひ、こちらが口を開くと(と)がらすと表情を模倣するなど、対象をとらえることができるまでになっていく。音に対しては妊娠28週以降には音の知覚が可能で、周囲の音に反応し、胎内で聴いていた心音には生まれてからもよく反応する。新生児は他の人の声と母親の声を聞き分け、母親の声を好む。胎児期に母親が本を読み聞かしているとき、本を朗読する声に反応する。母国語とそうでない言語とを区別している。光トポグラフィという検査では母国語を聞かせた時には左の言語中枢の活動が高まると報告されている。他方、妊娠中に中度から重度のストレスを受けた

母親の産んだ新生児と、受けた母の産んだ新生児の頭囲を比較した結果、ストレスのさいに母親の副腎皮質から分泌されたグルココルチコイドが胎児の脳の発達を阻害すると報告されている。こうしたことから、妊婦の精神的健康は胎児の脳の発達に大きく影響することが推察される。妊娠中の嫁姑(しゅうとめ)の軋轢(あつれき)や夫婦間の葛藤(かっとう)、心配事や怒り、これらが新生児の心の発達に課題を残すが、このことを相互に理解し合えば解決できるはずである。親との同居の結婚生活は敬遠されがちだが、義母が嫁をもてなす心があれば別居のAにも変化をもたらすことがある。たとえばインフル

エンザと言っても要注意である。以前から言われていることだが、妊娠中の母親のアルコール中毒は知的障害や顔面奇形をともなう胎児性アルコール症をもたらす。風疹(ふうしん)の感染は心臓の奇形や知的障害や自閉症を主症状とする胎児性風疹を起こす。これらは具体的な予防が考えられる。感染性ウイルスは宿主の細胞核に入り込み、宿主に自分のコピーを作らせて増殖する。このさい宿主のDNAにも変化をもたらすことがある。たとえばインフル

藤井君らは変則的な部活を気にする様子もなく、一般の学生のさわめきをよそに、エクセルのソフトウエア、ピボットテーブルとソルバーの機能を利用して表計算に熱中していた。どちらかに問題が起きると手を休めて、処理作業中



真剣に画面を見つめる藤井君

活動目標は、大会参加よりも、コンピユーター技術を学んで実戦的に使いこなせるようになること。進学する人は、進学のツールとして使い、入学後もレポート作成や論文を書く手段として使えるように学んでいる。この部が以前からこうしたスタイルの活動をしてきたわけではない。かつては大分県のコンピユーター利

用技術大会に出場して、2位になったことが2回もある。形にこだわらない、臨機応変の部活をはじめようになったのは、進学校で受験勉強が厳しく、部活の時間を画一的にすると、活動に参加したくても参加できなくなるからだ。藤井君の担任藤原和彦先生も、彼の部活に理解を示し、「特進コースでも勉強漬けでないのはいい。ダイヤモンドの原石みたいで勉強中だが、理数にもっと奮闘を」とエールを送る。藤井君がコンピユーター部に入ったのは、母がパソコンで仕事しているのを見て、興味を持ったのがきっかけだった。明るくて小さな藤井君だが、7年前に父親を交通事故で亡くしている。

## シリーズ 心の病気 (34)